**あなたは、コンサルタントという職業を選択しようとしていますが、その理由をこれまでの学業、人生経験や価値観などから具体的にまとめてください。**

「新しいことに挑めること」と「クライアントと社会の成長に120％の力を貢献できること」の2軸でコンサルタントという職業を志望しています。このような考えに至った理由は２つあります。

1つ目は、私はこれまでボクシングの活動や公式動画チャンネルの立ち上げなど、数多くの難題に挑戦してきたため、将来の仕事でも新たなことに挑める環境で働きたいからです。学生時代では、リーダーとしてゼロから学校の公式動画チャンネルを開設し、フォロワーを2000人まで伸ばした経験があります。その経験の中で、今までなかった動画という斬新な表現形式を学校に提案し、公式動画チャンネルを開設しました。そして、今流行りのトピックをリストアップした上で、大学の特徴に合わせて動画のテーマを決め、動画撮影から編集・投稿まで完了し、チャンネルの運営を仕組み化できました。上記のように、常に新たな取り組みに挑戦し成果を出してきた原体験があるため、何か月単位でプロジェクトが変わり、常に新しい業界・業務内容に挑戦することができるコンサルティング業界は挑戦好きな自分に向いていると考えました。

2つ目は、パン屋のアルバイトにおいて売上向上策を考え、実施した経験があり、他者の成長を支える際に大きなやりがいと達成感を味わったことから、クライアントの事業を支援できるコンサルタントに従事したいと考えたからです。大学時代、アルバイト先のパン屋では売上の伸び悩みの課題がありました。そこで、私は自らアンケート調査を配布し、データを分析しました。結果として、販売活動の中で、情報の提供不足がボトルネックを確認できました。その点に対して、SNSの更新頻度の向上と予約販売システムの導入を提案し、実施しました。一年後、パン屋は自立し、長期的に売上を10%向上させることができました。この経験から、目の前の人が抱えている悩みに対して、課題を発見し、持続的な施策を提供できる課題解決力と提案力を鍛えたと同時に、これからのキャリアにおいて、クライアントの課題解決を通じて企業や社会に寄り添い、成長を伴走するコンサルタントの仕事に就きたいと考えるようになりました。

以上の経験から、コンサルタントのキーワードである「常に新しいことに挑める環境があること」と「課題解決を通してクライアントと社会をより良くできること」が自分の軸に合致しており、自身の成長環境として最適だと考えました。